



静寂と詩情 千人に一人のリリシスト

ラドゥ・ルプーの世界



ラドゥ・ルプー（1945-2022）は、ルーマニアに生まれ、モスクワ音楽院で学び1966年第2回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール、リーズ国際ピアノ・コンクール優勝。詩的な表現と独特の響きで多くの音楽ファンを魅了したピアニストです。テクニックを前面に押し出すタイプではなく、内面の深みを追求し、音の間を生かした演奏が特徴で、彼の音楽はクラシックファンだけでなく、ジャズやアンビエントを好む人にも人気でした。本日はラドゥ・ルプーの名演から代表的な作品を選び、お楽しみ頂きます。

■ シューベルト

1. 4つの即興曲 D.899-3（変ト長調） 6:32

2. ピアノソナタ第21番 D.960-4 7:42

1991年録音

■ シューマン

3. 子供の情景 Op.15「トロイメライ」 1:29

93年録音

■ ブラームス

4. 6つの小品 Op.118-2 5:56

ピアノ小品集 (DECCA) 70年録音

■ モーツァルト

5. ピアノ協奏曲第21番ハ長調 K.467 第2楽章 7:14

イギリス室内管弦楽団ユリ・シーガル指揮 74年録音

■ グリーク

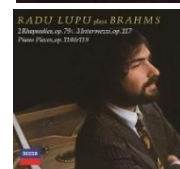
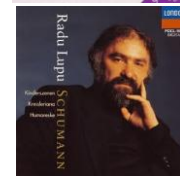
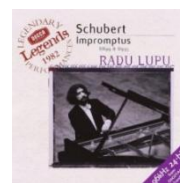
6. ピアノ協奏曲 Op.16 II. Adagio 6:43

アンドレ・プレヴィン指揮ロンドン交響楽 73年録音

■ ブラームス [映像]

7. ピアノ協奏曲第1番二短調 Op.15 II. Adagio 12:12

ユッカ=ペッカ・サラステ指揮フィンランド放送交響楽団 96年



計49分